

第9回 明治大学小史展

女子部・女子専門学校の歩み

2002・3・1（金）～5・31（金）
大学会館1階ロビー
主幹 明治大学歴史編纂事務室

1929年（昭和4）4月は明治大学の歴史だけではなく日本の高等教育史にとって画期的な出来事がありました。女性の社会的地位向上、男女平等が叫ばれる中、女子高等職業教育をめざして明治大学に女子部が開設されたのです。そして、この女子部（のちの女子専門学校）は1950年（昭和25）3月、短期大学部に編入されるまで実に多くの有能な人材を世に送り出しました。今回は栄光の女子部・女子専門学校に関する史料を展示しました。

なお、お問い合わせは歴史編纂事務室（当館6階）までお願いいたします。



開校式場の生徒（昭和4年4月28日）

展示品

1. 法科女子専門部設立理由書（昭和初年）

明治大学に女子専門教育機関設立の動きがあったのは大正15年であり、当初は専門部の中に「女子法科」を置くことから進められた。

2. 明大女子部開校新聞記事（昭和3年3月7日）

都新聞が取り上げた開校予定の記事である。

3. 女子部設立趣意書（昭和4年頃）

女子法科が正式に女子部となるのは昭和4年である。「女子も男子と共に向上発展して人生の目的を達成することに努めなければならない」と唱えられている。

4. 開校式案内状（昭和4年4月20日）

28日に行われる式典の招待状である。

5. 明治大学女子部開校式順序（昭和4年）

穂積とは開校に一役かったといわれる民法学の穂積重遠教授である。

6. 開校式の係員分担と注意事項（昭和4年4月）

開校式当日の係員分担や徽章、控室・式場・食堂、挨拶・祝辞、進行上の留意事項、さらに予算に関するものである。

7. 開校式々場生徒の写真（昭和4年4月28日）

場所は旧記念館講堂である。ほとんどが和服姿である。

8. 最初の女子部校舎と女子部生写真（昭和4年5月）

最初の校舎は明治中学校剣道場を移築したものであり、場所は今の明治高校の所。2階建。

9. 学生心得書（昭和4年12月23日）

明治大学初の女子教育に向けて学生の心得10項目が定められた。女子部長松本重敏は明治大学から初めて法学博士を授与された教授である。

10. 旧記念館前での生徒記念写真（昭和6年）

制服、制帽の姿である。

11. 模擬裁判の写真（昭和6年）
女子部の活動のひとこまである。写真上。
12. 自動車班発会時のメンバー写真
(昭和6年)
発会式の時に写したものである。写真下。
13. 明治大学女子部入学志願者心得
(昭和10年1月)
入学志願者募集のためのものである。
予科、本科、聴講生に分けて募集してい
る。
14. 女子部存続要望書（昭和12年3月31日）
一時、生徒数の減少をきたした女子部
に対し昭和12年3月26日、廃止の申請を
文部省にした。その時、学生がしたため
た存続のための決議書である。
15. 初の高等文官試験合格新聞記事（昭和13年9月25日）
文中にあるように女子部卒業生の田中正子、武藤嘉子、久米愛の三人が合格した。
16. 明治大学学則（昭和14年3月）
専門部の中に女子部が位置づけられている。
17. 授業風景の写真（昭和15年12月）
教壇に立つのは大谷美隆法学部教授である。写真右。
18. 婦人法律相談の写真（昭和15年）
女子部の特色を十分に生かした活動である。
19. 女子部校舎建築契約書と地鎮祭・上棟式
(昭和16年6月7日、同年17年1月8日)
その後、昭和11年に明治中学校の所から旧2号館に
移転していた女子部校舎はついに、同年17年9月5日、
専用校舎として竣工した。現在のB地区（旧5号館）の
所。



20. 明治大学報国団々則（昭和16年）

戦時体制のため、明治大学にも報国団が結成されたが、女子部も例外ではなかった。

21. 制帽（昭和17年4月）

この帽子は校友山本久子氏（昭和19年卒業）が着用されていたもの。

22. 明治女子専門学校改編議事録と学則（昭和18年11月、同19年）

戦時非常措置のため、男子中心の専門部から切り離し、また「銃後」の任務を教育するという国策により女子部は改編された。この時、経済統制策のため商科は経済科と改称された。

23. 救護班の訓練風景写真（昭和18年）

賀陽宮が臨校した時のようにある。戦時体制による訓練である。

24. 明治大学女子部要覧（昭和10年代）

当時の女子部のことが一覧できる。

25. 第二回養成所教育実施一覧（昭和19年4月）

戦時体制の下、女子部に戦時生活指導者養成所が開設されたのは、昭和18年11月17日のことであった。

26. 女子専門学校門標（昭和19年頃）

専用校舎の所に掲げられた。

27. 女子部旗（時期不明）

多くの儀式や行事に用いられた。

28. 女子部祭招待券（昭和24年10月）

「新しき女性像の形成」、「洋舞」、「民主合唱コーラス」という活字は戦後まもない頃の社会を反映している。

29. 『明峯』明治女専さよなら記念号（昭和25年12月）

明治大学学生雑誌部発行のもので、随想や座談会などが掲載されている。

2002・3・1

明治大学歴史編纂事務室

☎ 03(3296)4085・4086